

安全データシート

作成日:2022年4月15日

1. 製品及び会社情報	
化学品の名称	亜硫酸マグネシウム六水和物
会社名	米山薬品工業株式会社
住所	大阪府中央区道修町2丁目3番11号
電話番号	(06)6231-3555(大阪・本社) (03)3246-2311(東京) (0268)22-5910(上田) (052)504-2221(名古屋) (082)537-0290(広島)
整理番号	AA1109
2. 危険有害性の要約	
GHS分類	分類の基準に該当しない
ラベル要素	
絵表示又はシンボル	なし
注意喚起語	なし
危険有害性情報	なし
注意書き	なし
3. 組成、成分情報	
化学物質・混合物の区別	化学物質
化学名又は一般名	亜硫酸マグネシウム六水和物
別名	—
化学式	MgSO ₃ ·6H ₂ O
化学物質を特定できる一般的な番号	CAS RN: 7757-88-2
含有量	95.0%以上
官報公示整理番号(化審法、安衛法)	(1)-467 / 公表
4. 応急措置	
吸入した場合	空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。 気分が悪い時は、医師の手当て、診断を受けること。
皮膚に付着した場合	多量の水と石鹼で洗うこと。 皮膚刺激が生じた場合、医師の診断、手当てを受けること。
眼に入った場合	水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。 直ちに医師の診断を受けること。
飲み込んだ場合	口をすすぐこと。 直ちに医師の診断を受けること。
5. 火災時の措置	
適切な消火剤	水噴霧、炭酸ガス、粉末消火剤、泡消火剤
使ってはならない消火剤	該当情報なし
特有の危険有害性	火災によって刺激性又は毒性のガスを発生するおそれがある。
特有の消火方法	消火活動は風上から行う。 火災場所の周辺には関係者以外の立ち入りを規制する。 危険でなければ火災区域から容器を移動する。
消火を行う者の保護	消火作業の際は、適切な保護具や耐火服を着用する。
6. 漏出時の措置	
人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置	関係者以外の立ち入りを禁止する。 作業者は適切な保護具を着用し、眼、皮膚への接触や吸入を避ける。 風上から作業して、風下の人を退避させる。
環境に対する注意事項 封じ込め及び浄化の方法及び機材	河川等へ排出され環境への影響を起ささないように注意する。 飛散発じんしないようにして、掃き集めて密閉できる空容器等に回収する。 排水溝、下水溝、地下室あるいは閉鎖場所への流入を防ぐ。
7. 取扱い及び保管上の注意	
取扱い	
技術的対策(局所排気、全体換気等)	取扱う作業場には洗眼器と安全シャワーを設置する。 局所換気装置を使用する。
安全取扱注意事項	目、皮膚及び衣類に触れないように適切な保護用具を用いる。 粉じんを発生させないようにする。 取扱い後はよく手を洗うこと。 この製品を使用する時に、飲食又は喫煙しないこと。
接触回避	該当情報なし
保管	

安全な保管条件 容器包装材料	遮光して、冷暗所に密封して保管する。 ポリエチレン
8. 暴露防止及び保護措置	
許容濃度	
管理濃度	未設定
日本産業衛生学会	未設定
ACGIH	未設定
設備対策	この物質を貯蔵ないし取扱う作業場には洗眼器と安全シャワーを設置する。 作業場には全体換気装置、局所排気装置を設置する。
保護具	
呼吸器の保護具	防塵マスク又は簡易防塵マスクを着用する。
手の保護具	ゴム手袋を着用する。
目の保護具	保護眼鏡やゴーグルを着用する。
皮膚及び身体の保護具	保護衣を着用する。
9. 物理的及び化学的性質	
物理状態	白色粉末
臭い	該当情報なし
融点/凝固点	加熱により分解する(無水物としての情報)
沸点又は初留点及び沸点範囲	該当情報なし
燃焼性	該当情報なし
爆発下限界及び爆発上限界/可燃限界	該当情報なし
引火点	該当情報なし
自然発火温度	該当情報なし
分解温度	70°C~80°Cで4水和物は結晶水を失う。 約100°Cで5水和物は結晶水を失う。 約120°Cで6水和物は結晶水を失う。 1124°C
pH	7.9 (25°C, 50g/L 無水物としての情報)
動粘性率(粘度)	該当情報なし
溶解度	該当情報なし
n-オクタノール/水分配係数	該当情報なし
蒸気圧	該当情報なし
密度及び/又は相対密度	2.66g/cm ³ (20°C, 無水物としての情報)
相対ガス密度	該当情報なし
蒸発速度(酢酸ブチル=1)	該当情報なし
10. 安定性及び反応性	
反応性、化学的安定性	該当情報なし
危険有害反応可能性	該当情報なし
避けるべき条件	日光、高温、湿気
混触危険物質	アセチレン化合物、1-エトキシ-3-メチル-1-ブテン-3-オール、金属粉末
危険有害な分解生成物	二酸化硫黄
11. 有害性情報	
急性毒性	高用量の経口摂取後の粘膜の刺激、胃腸の愁訴および神経筋障害(高マグネシウム血症)が報告されている。
皮膚腐食性及び皮膚刺激性	該当情報なし
眼に対する重篤な損傷性又は眼刺激性	該当情報なし
呼吸器感作性又は皮膚感作性	該当情報なし
生殖細胞変異原性	該当情報なし
発がん性	該当情報なし
生殖毒性	新生児に一時的な血圧低下の兆候があると報告があるが、一貫した根拠はない。
特定標的臓器毒性(単回暴露)	該当情報なし
特定標的臓器毒性(反復暴露)	高用量の反復経口摂取後:神経筋および心臓障害(高マグネシウム血症)が報告されている。
誤えん有害性	該当情報なし
12. 環境影響情報	
生態毒性	短期: LC50(魚類、96時間):2,820mg/L (急性) 長期: 該当情報なし (慢性)
残留性・分解性	該当情報なし
生体蓄積性	該当情報なし

<p>土壤中の移動性 オゾン層への有害性</p>	<p>該当情報なし 当該物質はモントリオール議定書の附属書に列記されていない。(分類できない)</p>
<p>13. 廃棄上の注意 残余廃棄物</p> <p>汚染容器及び包装</p>	<p>廃棄においては、関連法規制ならびに地方自治体の基準に従うこと。 都道府県知事などの許可を受けた産業廃棄物処理業者、または地方公共団体が廃棄物処理を行っている場合はそこに委託して処理する。 容器は洗浄してリサイクルするか、関連法規制ならびに地方自治体の基準に従って適切な処分を行う。 空容器を廃棄する場合は、内容物を完全に除去すること。</p>
<p>14. 輸送上の注意 国連番号</p> <p>品名(国連輸送名)</p> <p>国連分類</p> <p>容器等級</p> <p>輸送又は輸送手段に関する特別の安全対策</p> <p>国内規制がある場合の規制情報</p> <p>陸上輸送</p> <p>海上輸送</p> <p>航空輸送</p> <p>応急措置指針番号</p>	<p>—</p> <p>—</p> <p>—</p> <p>—</p> <p>輸送に際しては、直射日光を避け、容器の破損、腐食、漏れのないように積み込み、荷崩れの防止を確実にを行う。</p> <p>消防法の規定に従う。 船舶安全法の規定に従う。 航空法の規定に従う。 重量物を上積みしない。</p> <p>—</p>
<p>15. 適用法令 化学物質管理促進法(PRTR法)</p> <p>毒物及び劇物取締法</p> <p>消防法</p> <p>労働安全衛生法</p>	<p>指定化学物質に該当しない。 毒物及び劇物に該当しない。 危険物に該当しない。 名称等を表示し、又は通知すべき有害物〔施行令別表9〕に該当しない。</p>
<p>16. その他の情報 参考文献</p>	<p>NITE-CHRIP(製品評価技術基盤機構HP) 16615の化学商品(化学工業日報社)</p> <p>記載内容のうち、含有量、物理／化学的性質等の数値は保証値ではありません。危険・有害性の評価は、現時点で入手できる資料・情報 データ等に基づいて作成しておりますが、すべての資料を網羅した訳ではありませんので取り扱いには十分注意して下さい。</p>